

消費者団体と北陸農政局との意見交換会（新潟県）の概要

日時：令和元年7月3日（水）13:30～

場所：北陸農政局新潟県拠点2階会議室

北陸農政局は、消費者の農林水産行政に対する信頼確保や理解の浸透を図ることを目的として、「消費者団体と北陸農政局との意見交換会」を開催しています。今回は、「安全で健やかな食生活を送るために ～アクリルアミドを減らすために家庭でできること～」をテーマに、新潟県内消費者団体の代表者等15名と意見交換会を開催しました。



【消費・安全調整官の挨拶】

最初に、北陸農政局武田消費・安全調整官から、本題である「安全で健やかな食生活を送るために ～アクリルアミドを減らすために家庭でできること～」のテーマについて忌憚のない意見等、活発な意見交換会となるようお願いがなされ、開会の挨拶となりました。

その後、北陸農政局消費・安全部消費生活課からテーマについての説明を行い、出席された消費者団体の皆様と意見交換を行いました。

最後に、北陸農政局新潟県拠点齊藤地方参事官から、新潟県における農福連携の取組の紹介を含めた挨拶があり、意見交換会を閉会しました。



【北陸農政局からの説明】



【意見交換会の様子】

【消費者団体との意見交換内容】

・野菜を加熱するとアクリルアミドが発生するとのことだが、肉や魚の場合はどうなのか。
→タンパク質を多く含む肉や魚でも、水分が少ない状態で120℃以上に加熱すると、アクリルアミドは生成されます。しかし、イモ類、野菜、穀類を加熱した食品に比べてアクリルアミド濃度は低いいため、低減技術の優先的な研究対象とはなっていない。

・農林水産省はアクリルアミドの含有実態調査を行っているとのことだが、どのような食品を調査しているのか。

→国内外でアクリルアミド濃度が高いと報告されている加工食品や日本人の摂取量が多い食品、海外にはなく日本独特の食品、例えばかりんとうや米菓等も調査している。本年度は、ポテトスナック、フライドポテト、カレーうどんなどが調査対象になっている。

・アクリルアミドという言葉の認知度は低いと思われる。食品事業者には指針を策定し普及しているとのことだが、一般消費者の認知度は低いと思われる。今後、一般消費者に対しどのように広めていくのが大事であり、メディア等にとりあげることはできないかと思う。

また、私達は、食生活改善推進員の活動を通して、一般の消費者や小学校に出向き講座を行っており、今後、アクリルアミドのことを勉強して講座などで触れたいが、話ができるのか不安である。

→家庭でもアクリルアミドはできるので、正しく理解していただけるよう家庭用の冊子を作成し、消費者団体に配布してきた。また、出張講座や意見交換会で消費者の方に直接話をし、家庭での低減方法を紹介する取組を全国で行っている。

「アクリルアミドについて」の説明について、ご希望であれば、私達が直接出向き話をしますので、北陸農政局消費生活課までご連絡いただきたい。

・最近の日本人は、コーヒーを飲み過ぎている感じがする。外国はコーヒーの飲み過ぎについて厳しく徹底されているが、日本ではまだ知られていない。日本でももう少し認知されればと思う。

それと、コーヒー豆とインスタントコーヒーでアクリルアミド濃度に違いはあるのか。

→コーヒーにはカフェインが含まれており、カフェインを過剰摂取すると神経を興奮させたり、消化器官を刺激して下痢や嘔吐することがある。長期的には高血圧になるリスクが高くなる可能性がある。妊婦では胎児の発達を阻害する報告があるため、コーヒーの飲み過ぎには特に注意していただきたい。コーヒーの飲み過ぎについては、農林水産省、厚生労働省、食品安全委員会などでも、ホームページで注意喚起している。

コーヒー豆とインスタントコーヒーのアクリルアミド濃度について、農林水産省で調査しており、平成28年度の含有実態調査では、コーヒー豆は平均で0.25mg/kg、インスタントコーヒーは0.60mg/kgであった。コーヒーは、使う豆の量や湯量によってアクリルアミド濃度が変わるため、豆自体の濃度を測定している。豆そのものは食べないので、できあがったコ

ーヒーを飲む時は豆の濃度より低くなる。

ちなみに、コーヒーから摂取するアクリルアミドの量は、食品安全委員会の評価書では、レギュラーコーヒーもインスタントコーヒーも同じ0.012mg/kg 体重/日となっている。

意見交換会出席者

【消費者団体】 (5団体、15名)

新潟県婦人連盟、(特定非営利活動法人)新潟県消費者協会、
J A新潟県女性組織協議会、新潟県生活協同組合連合会
(公社)新潟県栄養士会

【講師】

北陸農政局消費・安全部消費生活課

【北陸農政局】

北陸農政局消費・安全調整官

北陸農政局消費・安全部消費生活課長

北陸農政局新潟県拠点地方参事官 等